シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	コミュニケーションサポートⅠ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	各担任						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	始業式、終業式、Ｓ－ＡＩＲフェスタ等、学内の各種行事を実施するための科目です。コースを超えての集団行動や活動を通して多くの交流を持つことを目的とします。						

授業手法	・対面	○		・遠隔			・対面/遠隔			・オンデマンド		
アクティブラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ		
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ			ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ			ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ		
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ			PBL			模擬授業			その他		

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1～4	入学式	10項目程度
5～16	オリエンテーション・健康診断	①他者とのコミュニケーション力
17～20	S-AIRフェスタ	
20～22	終業式	
23～24	業界セミナー	
25～26	始業式	
27～28	ニューイヤーセミナー	
29～30	終業式	

成績評価方法	出席率に準じての評価。（学校行事への参加での評価）
使用テキスト／教材	なし
関連科目	
その他	

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	立居振舞い
学科・コース	本科共通
担当教員	小澤、小尾、阪本、草場、水谷

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技		1	後期	必修	30	1

授業目的 到達目標	社会に出る前の準備として,立ち居振る舞いと自己表現の強化を図ります。 所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目標とします。

授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業	○	調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○	PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1～4	面接の為の基本マナー①印象・話し方・簡単な自己紹介	10項目程度
5～8	面接の為の基本マナー②所作と自己紹介・WEB面接対応	① 良い姿勢が作れる
9～12	所作・自己紹介・自己PR　※就活セットの準備	② 良い表情（笑顔）が作れる
13～14	所作と自己PR　・　基本の質問	③ 自己分析が出来る
15～18	面接対応力UP（自己分析から答え難い質問まで）	④ 丁寧な言葉遣いが出来る
19～22	所作とディスカッション	⑤ 課題について自分の考えが言える
23～26	送付状・お礼状の書き方・送り方、メールの返信の仕方	⑥ 文書類が作成できるようになる
27～28	グループディスカッション	⑦ 自分の目標が見つかる
29～30	グループディスカッション（就職対策前のまとめ）	⑧ 就職活動に向かう姿勢が整う

成績評価方法	出欠席（50%）、取り組み姿勢（30%）、身だしなみ（20%）
使用テキスト／教材	マナーBOOK2023　、　講師作成プリント
関連科目	キャリアサポートⅠ・Ⅱ
その他	身だしなみを整え出席のこと　　※実務経験のある教員が担当する科目である

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	キャリアサポートⅠ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	山崎　弘						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	90	6	
授業目的 到達目標	職業教育を受けた学生が個々の価値観を実現するキャリア形成をスタートするため、労働の意義と職業観を確立し、最適な就職内定獲得する準備及び就職活動を開始する						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔 ○	・オンデマンド			

アクティブラーニング	事前学習型授業	○		反転授業			調査授業	○		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ			ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ			PBL			模擬授業			その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1 ～ 4	就活の秘訣、自己分析の必要性	① 就活の必要性を知る
5 ～ 14	自己の価値観、強みとなりたい自分の確立	② ライフチャートから自己の強みを知る
15 ～ 24	企業と労働者、企業の求める人材の理解	③ 自己の価値観を知る
25 ～ 30	説得的就職活動とは、職業観の確立	④ 企業の仕組みと機能がわかる
31 ～ 36	業界と職種についての理解と研究	⑤ 社会保険制度を知る
37 ～ 42	就活に用いる履歴書の精度を上げる	⑥ 社会と企業の求める人材像がわかる
43 ～ 48	活動のプロセス理解、就職支援サイトの利用	⑦ 就活文書の制度の必要性を知る
47 ～ 54	企業研究演習①	⑧ 精度の高い履歴書の書き方を知る
55 ～ 60	就活に用いる各種文書の準備	⑨ 就活のプロセスがわかる
61 ～ 66	企業研究演習②	⑩ 就活で用いる各種文書を準備できる
67 ～ 72	自己ＰＲ・志望動機作文演習	⑪企業研究の制度をあげられる
73 ～ 82	エントリシートの試作演習	⑫電子メール（就活用）の利用ができる
83 ～ 90	実践就活の開始、就職対策準備	⑬ 具体的な活動を開始する

成績評価方法	【前期】・期末筆記試験（40%）、前期課題（30%）、出席率（30%） 【後期】・後期課題（50%）、出席率（50%）
使用テキスト／教材	キャリアデザインノート（オリジナル教材）
関連科目	本校のマナー及び語学力と書く学習コースの専門科目
その他	

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	ＩＣＴリテラシーⅠ
学科・コース	本科共通
担当教員	白鳥、松川、伊東、望月、石黒、山梨

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技		1	通年	必修	60	2

授業目的 到達目標	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実技レベルで学習します。 またOffice365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング												
	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ			ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ			ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ			PBL			模擬授業			その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1 ～6	初期設定、ソフトのインストール作業、利用上の注意事項	
7 ～14	PowerPoint（プレゼンテーション作成演習）	① PowerPoint2019基本操作の理解
15 ～20	PowerPoint（画面効果、アニメーション効果）	② 就職活動用書類作成
21 ～36	PowerPoint総合演習	③ Excel2019基本操作の理解
37 ～40	Word（文書作成演習）	
41 ～44	Word（画像挿入を利用した作成演習）	
45 ～52	Excel（表計算の基礎演習）	
53 ～56	Excel（データ操作の基礎演習）	
57 ～60	まとめ	

成績評価方法	評価試験(Excel)60% 、PowerPoint演習20% 、Word演習10% 、出席率・学習意欲10%
使用テキスト／教材	情報リテラシー、PowerPoint検定問題集、教員作成資料
関連科目	ＩＣＴリテラシーⅡ
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である ※Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標登録です ※本文では、TMおよび®マークは明記しておりません

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	英会話Ⅰ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	Anthony Cook et al						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	This course is topic-based and provides students with opportunities to explore various topics in English. Activities include interviews, role-plays, and other task-based activities.						
授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔 ○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ	○	ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○	PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-4	Unit 0: Placement l	10項目程度
5-8	Unit 1: Introductions	① say likes and dislikes
9-12	Unit 2: Family	② talk about past experiences
13-16	Unit 3: Neighborhood	③ talk about current life
17-20	Unit 4: Diet & Exercise	④ explain preferences
21-24	Unit 5: Food	⑤ talk about future plans
25-28	Unit 6: Money	⑥ respond to follow-up questions
29-32	Unit 7: Music	⑦ improve overall accuracy & vocab
33-36	Unit 8: Pets	⑧ speak for up to 1 minute on a topic
37-40	Unit 9: Shopping	
41-44	Unit 10: Vacations	
45-48	Unit 11: Movies	
49-52	Unit 12: Celebrities	
53-56	Unit 13: Work	
57-60	Unit 14: Love	

成績評価方法	Assessment will be via an oral proficiency interview. During this interview, students will be asked a variety of questions relating to the studied material and asked to speak in depth about a topic of their choice.
使用テキスト／教材	English Conversation Ⅰ Textbook
関連科目	英語検定Ⅰ
その他	This class is conducted primarily in English. Students are expected to maintain an English only speaking environment in class. ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	英語検定 Ⅰ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	120	8	
授業目的 到達目標	This is a preparation class for those preparing to take the TOEIC® LR Test. During the course, we will review test content, build vocabulary, and undertake practice tests.						

授業手法	・対面			・遠隔			・対面/遠隔	○		・オンデマンド		
アクティブラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ		
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ	○		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ			ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ		
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ			PBL			模擬授業			その他		

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-8	Part 1 Photographs (single/multiple)	10項目程度
9-16	Part 2 Question Response (WH Q)	① infer meaning from short and long dialogues
17-24	Part 2 Question Response (Indirect Q)	② recall details from short and long dialogues
25-34	Part 5 Incomplete Sentence (Grammar Review)	③ familairity with TOEIC synonyms
35-42	Part 5 Incomplete Sentence (Vocabulary Review)	④ accuracy of grammatical model
43-52	Part 6 Documents (Grammar & Vocabulary)	⑤ ability to skim and scan documents
53-60	Part 6 Documents (Context Questions)	⑥ infer purpose from written documents
61-68	Part 3 Conversations (General Questions)	⑦ locate details from written documents
69-78	Part 3 Conversations (Specific Questions)	⑧ connect data across multiple documents
79-86	Part 4 Talks (General Questions)	⑨ apply effective time-management
87-94	Part 4 Talks (Specific Questions)	
95-102	Part 7 Single Passages (General & Specific Q)	
103-110	Part 7 Double Passages (General & Specific Q)	
111-116	Part 7 Triple Passages (General & Specific Q)	
117-120	Practice Tests 1-4	

成績評価方法	Scores will be awarded based on official test score results.
使用テキスト／教材	Materials will be assigned by the teacher based on your specific level. Vocabulary - TOEIC® LRテストスーパー英単語
関連科目	英会話Ⅰ
その他	TOEIC® Listening and Reading Test requires extensive preparation and effort. This class is primarily conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	マナー・接遇Ⅰ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	小澤・小尾・阪本・草場・齋藤						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・実技	1	通年	必修	90	3	
授業目的 到達目標	社会人としてのマナーや接客対応の考え方を学び必要な資質を身につける。 サービス接遇検定2級、準1級、日本語検定の取得を目指す。						

授業手法	・対面	○		・遠隔			・対面/遠隔			・オンデマンド	
アクティブラーニング	事前学習型授業	○		反転授業	○		調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ	○		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ			ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ			PBL			模擬授業			その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1～30	S-AIRのマナー、サービス接遇検定2級対策	10項目程度
31～38	S-AIRのマナー、サービス接遇検定準1級対策	① S-AIRのマナーを身につける。
39～48	S-AIRのマナー、日本語検定対策	② 接客のマナーを理解する。
49～86	S-AIRのマナー、受験級別日本語検定対策	③ 接客用語を理解し使える。
87～90	2年次学習内容準備授業（プレテスト含）	④ 接客対応の考え方を理解する。
		⑤ 感じの良い挨拶、話し方ができる。
		⑥正しい日本語の知識を身につける。
		⑦丁寧な日本語が使える。
28		

成績評価方法	出欠席：20%、平常点（マナー、提出物、忘れ物など）：30%、検定結果50%、 ＊公欠以外で検定を休んだ場合は、再試対象とする。
使用テキスト／教材	サービス接遇検定2級公式テキスト・サービス接遇検定2級問題集（早稲田教育出版） マナーブック
関連科目	マナー・接遇Ⅱ
その他	電子辞書または国語辞典を持参すること　＊実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	ボイストレーニングⅠ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	太田玲子・もりかよこ・神田あや乃・眞田里子・林重吾						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	様々なエネルギーを発している人の声の重要性を知り、トレーニングを通して眠っている自分の声の魅力を開花させていきます。声のコントロール法が身につき印象力が上がりメンタル強化にも繋がります。						

授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド					
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ					
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ					
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他					

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1・2	オリエンテーション　　基礎トレーニング入門	① 知らなかった声の重要性を認識できる ② 自分の声を分析し改善点を知る事ができる ③ 声の出る仕組みを理解する事ができる ④ 正しい発声法を身につける事ができる ⑤ 眠っている自分の声を発見できる ⑥ 表情豊かになり印象が良くなる ⑦ 滑舌が良くなり響く声が出せるようになる ⑧ 声を出す楽しさを実感する事ができる
3～8	声分析・声のしくみ、基礎トレーニング	
9～16	声と呼吸、表情の関係・基礎トレーニング	
17～18	前期のまとめ　1分間スピーチ	
19～28	基礎トレーニング　課題文中級	
29・30	1年の総まとめ　1分間スピーチ	

成績評価方法	出席率（５０％）　小テスト（３０％）　取り組み（２０％）
使用テキスト／教材	必要に応じて配布プリントあり
関連科目	
その他	「※実務経験がある教員が担当する科目である」　毎時間PC、イヤホン持参する事

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	イメージアップⅠ						
学科・コース	本科共通（男子）						
担当教員	立石　公平						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	社会人としてスムーズなスタートをきることができるよう清潔感のある身嗜み基本として、必要な考え方やスキルを身につけることを目標とします。また、表情や態度など自己表現についても学び、イメージアップを目指します。						

授業手法	・対面	○		・遠隔			・対面/遠隔			・オンデマンド		
アクティブラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ		
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ	○		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ		
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○		PBL			模擬授業			その他		

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1～4	第一印象、ネクタイの結び方、スーツの着こなし	10項目程度
5～10	ヘアセット、ビジネスシューズの種類と手入れ	①スーツの着こなし
11～16	電話応対、プレゼンテーション、期末評価	②ビジネスヘアのセット
17～22	名刺の取り扱い、営業について	③プレゼンテーション力
23～26	ビジネス用語、文章力	④ビジネスマナーの基本
27～29	他人からの評価	⑤シューシャイン
30	期末評価	⑥ビジネス用語の理解

成績評価方法	前期：レポート提出（60%）・内容（40%） 後期：レポート提出（60%）・内容（40%）
使用テキスト／教材	教員作成資料
関連科目	「イメージアップⅡ」
その他	※実務経験のある教員が担当する授業である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	2023年度　イメージアップⅠ						
学科・コース	本科共通（女子）						
担当教員	徳差・千葉・中村・山田・松島						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	一年を通して客観的に外見と向き合い自立した外観管理をマスターし、基本の就活スタイルからTPOに合わせた自己演出の幅を広げることができることを目標とします。体の内側にも目を向け、食を通し身体を整える方法を学ぶことで健康的な肌づくりを保つことを目標とします。						

授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔			・オンデマンド			
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ				
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ				
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他				

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
１～２	オリエンテーション・メイクアップ前の概要説明	① 就活に適したﾍｱｽﾀｲﾙ（前髪、シニヨン等）の習得 ② 自己流を見直し、誰からも好まれる基本のメースメイク、ポイントメイクの習得 ③ 健康的な肌を保つための知識の習得 ④ 自己演出の幅を広げるためのメイクアップの習得
３～４	制服に似合うヘアスタイル	
５～６	自分の顔を知る	
７～８	皮膚の基礎知識Ⅰとスキンケア概論	
９～１０	メイクアップ基礎理論	
１１～１２	基本のメイクアップ	
１３～１４	基本のポイントメイクアップ	
１５～１６	栄養学	
１７～１８	なりたい自分になる	
１９～２０	写真撮影のメイクアップポイント	
２１～２２	ｾﾙﾌﾌﾞﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞためのｲﾒｰｼﾞﾒｲｸ：エレガント	
２３～２４	ｾﾙﾌﾌﾞﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞためのｲﾒｰｼﾞﾒｲｸ：フレッシュ	
２５～２６	ｾﾙﾌﾌﾞﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞためのｲﾒｰｼﾞﾒｲｸ：キュート	
２７～２８	ｾﾙﾌﾌﾞﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞためのｲﾒｰｼﾞﾒｲｸ：クール	
２９～３０	期末試験	

成績評価方法	・通年：出席率と課題、授業態度（30%） ・後期：期末試験【筆記、フルメイク実技、ヘアアップスタイル実技】（70%）
使用テキスト／教材	・JMAセルフメイクテキストブック・イメージアップテキスト・自分のヘアメイク用品（授業内で別途指示） ・タオル・髪留め・ティッシュ
関連科目	イメージアップⅡ
その他	コミュニケーションの入り口である第一印象を左右する顔の表情を作るスキルを身につけます。自己満足で終わらず社会人として他者を気遣う外観マナーを身につけましょう。※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	第二外国語Ⅰ
学科・コース	本科共通
担当教員	金　小賢・楊　移苗・邱　馨慧・鄭　泰元・小林　範彦

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
講義	・演習	1	通年	必修選択	60	4

授業目的 到達目標	中国語または韓国語を選択し、文字の読み方と正しい発音を身に付けます。また、異文化の理解を深め、簡単な挨拶、自己紹介、また航空業界・ホテル業界・観光分野で役に立つ決まり文句を習得することを目標とします。

授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド	

アクティブラーニング										
	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1～2	中国語・韓国語とその勉強法の紹介	
3～14	発音規則（ピン音・ハングル母音・子音）	①ピンイン、ハングル文字が読める
15～18	発音練習	②ピンイン、ハングル文字を正しく発音できる
19～20	挨拶	③文字を書くことができる
21～24	自己紹介	④文法が理解できる
25～28	作文基本演習	⑤簡単な挨拶ができる
28～30	前期の復習	⑥簡単な自己紹介の作文ができる
31～32	前期評価試験	⑦自己紹介ができる
33～36	おもてなし会話	⑧業界の接客用語が理解できる
37～42	航空業界・ホテル業界・観光業界でのシーン別における接客基本用語	⑨用語を用いて会話が作れる
43～52	空港・ホテル・旅行カウンター・インフォメーションカウンターの接客会話定型文	⑩基本の接客会話ができる
53～58	空港・ホテル・旅行カウンター・インフォメーションカウンターの基本接客ロールプレイ	
59～60	後期評価試験	

成績評価方法	期末試験50%、提出課題20%、小テスト20%、出席率・授業態度10%
使用テキスト／教材	中国語初級マスター22、接客のお決まりフレーズ600、改訂版パランセ韓国語初級
関連科目	第二外国語Ⅱ、観光業界全般の科目
その他	復習をきちんと行い、提出物の期限を守ること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	海外研修						
学科・コース	本科共通						
担当教員	各コース担任						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	後期	必修	60	2	
授業目的 到達目標	海外渡航にて日本以外の異文化を体験することを目的とします。滞在時には、英語のコミュニケーションにも挑戦し、日頃の英語学習を実践します。						

授業手法	・対面	○		・遠隔			・対面/遠隔			・オンデマンド	
アクティブラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ			ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ			PBL			模擬授業			その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1～2	パスポート説明会	10項目程度
3～4	渡航前説明会	①異文化理解
5～6	グループ行動計画の作成	②海外渡航の為の知識
7～8	最終説明会	
9～60	海外研修	

成績評価方法	・研修への参加とレポート提出(100%)
使用テキスト／教材	・オリジナルしおり
関連科目	
その他	

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	コミュニケーションサポートⅡ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	各担任						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	始業式、終業式、Ｓ－ＡＩＲフェスタ等、学内の各種行事を実施するための科目です。コースを超えての集団行動や活動を通して多くの交流を持つことを目的とします。						

授業手法	・対面	○		・遠隔			・対面/遠隔			・オンデマンド		
アクティブラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ		
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ			ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ			ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ		
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ			PBL			模擬授業			その他		

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1～4	始業式・健康診断	10項目程度
5～8	S-AIRフェスタ	①他者とのコミュニケーション力
9～10	終業式	②観光地理知識
11～12	始業式	
13～24	観光資源基礎	
25～26	終業式	
27～28	始業式・ニューイヤーセミナー	
29～30	学内表彰式	

成績評価方法	・出席（５０％）、観光資源基礎期末試験（５０％）
使用テキスト／教材	オリジナル観光サブノート
関連科目	
その他	

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	キャリアサポートⅡ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	小澤恵巳子・小尾純子・阪本知恵・草場美奈子・水谷和史						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習		2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	目指す業界への就職、及び社会人として必要な教養を身につけることを目的とします。プレゼンテーション、コミュニケーション能力の向上を図ります。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○	PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
１～１４	表現力アップ集団面接	10項目程度
１５～２９	表現力アップ個人面接	① 常に自分の意見を持つことができる
３０～３９	グループディスカッション	② 自分の意見を発信できる力を身につける
４０～４３	報告書、レポート、小論文の作成	③ １年次に身につけた外観管理ができる
４４～５３	教養講座	④ 好印象を与える立居振舞ができる
５４～６０	社会問題への取り組みを考える	⑤ 適切な敬語を遣い発信できる
		⑥ スーツを着こなすことができる
		⑦ 報告書の書き方を知る
		⑧ 相手に伝わる文章が書ける
		⑨ 社会人になる前に教養を身につける

成績評価方法	出欠席（４０％）　提出物（４０％）　身だしなみ（２０％）
使用テキスト／教材	就職活動セット（就活ファイル、就活ノート）
関連科目	キャリアサポートⅠ
その他	・身だしなみを整えて受講すること　※実務経験のある教員が担当する科目である

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	ＩＣＴリテラシーⅡ
学科・コース	本科共通
担当教員	白鳥、松川、伊東、望月、石黒

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実習		2	通年	必修	60	2

授業目的 到達目標	パソコンの幅広い使い方を習得することを目的とします。前半は、Excel検定に挑戦します。後半は、より機能的にWordを利用し、レポート作成に必要な手法を実習を通して習得します。

授業手法	・対面			・遠隔			・対面/遠隔	○		・オンデマンド		

アクティブラーニング												
	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ		
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ			ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ			ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ		
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ			PBL			模擬授業			その他		

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1 ～4	Excel（表示形式の利用）	① Excel2019基本・応用操作の理解 ② Word2019基本操作の理解 ③ 基本的なセキュリティー対策
5 ～8	Excel（オートフィル、式入力、作成）	
9 ～12	Excel（グラフの作成、構成要素の編集）	
13 ～16	Excel（データの並べ替え、抽出）	
17 ～20	Excel（総合演習）	
21 ～36	Excel総合演習	
37 ～40	Word（タブ、リーダー、インデントの書式設定）	
41 ～44	Word（行間の書式設定）	
45 ～50	Word（スタイル利用方法、演習）	
51 ～56	Word（表紙、ページ番号と目次の作成）	
57 ～58	Word総合演習	
59 ～60	インターネット活用、著作権、ウイルス対策、Windowsセキュリティ	

成績評価方法	評価試験（Word） 60% 、Excel演習 30% 、出席率・学習意欲 10%
使用テキスト／教材	情報リテラシー、Excel検定問題集
関連科目	ＩＣＴリテラシーⅠ
その他	実務経験のある教員が担当する科目である ※Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標登録です ※本文では、TMおよび®マークは明記しておりません

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	英会話 Ⅱ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	This course is topic-ased and provides students with opportunitues to explore various topis in English. Activities include interviews, role-plays, and task-based activities.						

授業手法	・対面			・遠隔			・対面/遠隔	○		・オンデマンド		
アクティブラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ		
	双方向ｱﾝｹｰﾄ	○		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○	
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○		PBL			模擬授業			その他		

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-4	Unit 1: Talking about Photography	10項目程度
5-8	Unit 2: Talking about Dreams & Wishes	① say likes and dislikes
9-12	Unit 3: Talking about Jobs & Careers	② talk about past experiences
13-16	Unit 4: Talking about Fashion	③ talk about current lifestyle
17-20	Unit 5: Talking about Mobile Phones	④ explain preferences
21-24	Unit 6: Talking about Restaurants	⑤ talk about future plans
25-28	Unit 7: Talking about High School	⑥ respond to follow-up questions
29-32	Unit 8: Talking about Theme Parks	⑦ improve overall accuracy & vocab
33-36	Unit 9: Talking about Family	⑧ speak for up to 1 minute on a topic
37-40	Unit 10: Talking about Food	
41-44	Unit 11: Talking about Magazines	
45-48	Unit 12: Talking about Future Plans	
49-52	Unit 13: Talking about Music	
53-56	Unit 15: Talking about Weather	
57-60	Unit 16: Talking about The Holidays	

成績評価方法	Oral Proficiency Test 100%
使用テキスト／教材	English Conversation Textbook Ⅱ
関連科目	英語検定II
その他	This class is conducted primarily in English. Students are expected to maintain an English speaking environment during class. Students will have opportunity to talk about a wide variety of topics during the year. ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	英語検定Ⅱ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修	120	8	
授業目的 到達目標	This is a preparation class for those preparing to take the TOEIC® LR Test. During the course, we will review test content, build vocabulary, and undertake practice tests.						

授業手法	・対面			・遠隔			・対面/遠隔	○		・オンデマンド		
アクティブラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ		
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ	○		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ			ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ		
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ			PBL			模擬授業			その他		

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-8	Part 3: Conversations (Inferred Meaning)	10項目程度
9-16	Part 3: Conversations (Graphics)	① infer purpose and context in short dialogues
17-26	Part 7: Multiple Passages (Direct/Indirect Q)	② infer purpose and context in longer dialogues
27-34	Part 7: Multiple Passages (Speed Training)	③ recall details from short dialogues
35-42	Part 5: Incomplete Sentence (Grammar Review)	④ recall details from longer dialogues
43-50	Part 5: Incomplete Sentence (Vocabulary Review)	⑤ Familiarity with TOEIC synonyms
51-60	Part 6: Documents (Context Questions)	⑥ infer purpose from written documents
61-70	Part 6: Documents (Grammar Review)	⑦ determine details and facts from written documents
71-80	Part 4: Talks (General Questions)	⑧ connect data across multiple sources
81-90	Part 4: Talks (Specific Questions)	⑨ apply appropriate vocabulary
91-98	Part 2: Question Response (Indirect Answers)	⑩ apply appropriate grammar
99-108	Part 1: Photographs (Scene Photographs)	
109-116	Reading (567) Speed Training	
117-118	Listening: 1 2 3 4 Practice	
119-120	Reading: 567 Practice	

成績評価方法	Scores will be awarded based on official test score results.
使用テキスト／教材	Materials will be assigned by the teacher based on your specific need and level. Vocabulary - TOEIC® LRテストスーパー英単語
関連科目	英会話Ⅱ
その他	TOEIC® Listening and Reading Test requires extensive preparation and effort. This class is primarily conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	マナー・接遇Ⅱ
学科・コース	本科共通
担当教員	小澤恵巳子・小尾純子・阪本知恵・草場美奈子・齋藤悦子

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
演習		2	通年	必修	90	3

授業目的 到達目標	社会人としてのマナーや接客時に心掛けなければならないことを引き続き学習します。資格としてビジネス文書検定ビジネス実務マナー検定、サービス接遇検定の上級合格を目標とします。

授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド	

アクティブラーニング								
	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1～4	【ビジネス文書】表記技能　総合・用字	10項目程度
5～8	【ビジネス文書】表記技能　用語・書式	① 文書を正しく表記できる
9～12	【ビジネス文書】 表現技能　正確な文章・わかりやすい文章	② ねじれのない分かりやすい文章をかける
13～16	【ビジネス文書】表現技能図表・礼儀正しい文章	③ 図表を正しく表記できる
17～20	【ビジネス文書】実務技能　社内文書・社外文書	④ 社内文書、社外文書のちがいがわかり作成できる
21～24	【ビジネス文書】 実務技能　文書の取り扱い・添削指導	⑤ 文書のレイアウトがわかる
25～44	【ビジネス文書】検定対策　検定試験	⑥ 企業実務についての知識を習得できる
45～47	後期科目プレイスメントテスト等	⑦ ビジネスの場にふさわしい立居振舞が理解できる
48～60	【ビジネス実務マナー】資質・企業実務・対人関係	⑧ 電話応対がわかる
61～68	【ビジネス実務マナー】電話実務・技能	⑨ 社会人としてのマナーが身につく
69～86	【ビジネス実務マナー】技能・検定対策　検定試験	⑩ 社会人になるための心構えができる
87～90	マイマナーブック作成	

成績評価方法	出欠席20%、平常点（マナー・提出物など）30%、検定50% ※検定を公欠以外の理由で欠席した場合は、再試対象とする。
使用テキスト／教材	ビジネス文書検定実問題集2級/3級、ビジネス文書検定受験ガイド2級/3級 ビジネス実務マナー検定実問題集2級/3級、ビジネス実務マナー検定受験ガイド1,2級/3級
関連科目	マナー・接遇Ⅰ
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	ボイストレーニングⅡ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	太田玲子・もりかよこ・神田あや乃・眞田里子・林重吾						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	昨年習得した声のコントロール法をさらに磨き、見た目と同様声の力で印象力を上げていきます。自分の声の魅力を開花させる事でメンタル強化にも繋げスピーチ力アップも目指します。						

授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド					
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ					
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ					
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他					

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1・2	昨年度の復習　基礎トレーニング入門応用編	
3～13	基礎トレーニング応用　　課題文ビフォーアフター	① 昨年度の自分の声の成長を確認できる
14～15	基礎トレーニング応用　前期のまとめ　1分間スピーチ	② 再度自声を分析し改善点を見つける事ができる
16～28	基礎トレーニング応用　課題文ビフォーアフター	③ 正しい発声法をさらに極める事ができる
29～30	後期のまとめ　1分間スピーチ	④ 話す言葉に感情を乗せる事ができる
		⑤ 眠っている自分の声を発見できる
		⑥ 表情豊かになり印象が良くなる
		⑦ 滑舌が良くなり響く声が出せるようになる
		⑧ 声を出す楽しさを実感する事ができる
		⑨TPOに応じた声を出す事ができるようになる
		⑩伝わりやすくなる事で自信が持てる

成績評価方法	出席率（５０％）　小テスト（３０％）　取り組み（２０％）
使用テキスト／教材	必要に応じて配布プリントあり
関連科目	
その他	「※実務経験がある教員が担当する科目である」　毎時間PC、イヤホン持参する事

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	イメージアップⅡ
学科・コース	本科共通（男子）
担当教員	水谷・松島（日本茶講座）

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技		2	前期	必修	30	1

授業目的 到達目標	身だしなみを整えるための技術に加え、職場での人間関係づくりの為、コミュニケーションスキルや組織においての適応力を養う。

授業手法	・対面			・遠隔			・対面/遠隔	○		・オンデマンド		

アクティブラーニング												
	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ		
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ	○		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ			ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ		
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○		PBL			模擬授業			その他		

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
１～２	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽｷﾙを磨く：日本茶の基礎知識①	① 社会人として必要な身だしなみを整えるスキルの習得 ② 自己分析と他者理解について学び、共感力や協調性を養う ③ セルフブランディングに着目した自己演出能力及びプレゼンテーションスキルの習得 ④ コミュニケーション力を高める教養の習得
３～４	日本茶の基礎知識②	
５～６	身だしなみアイテムのメンテナンス	
７～９	衣服のメンテナンス①	
９～１０	衣服のメンテナンス②	
１１～１２	衣服のメンテナンス③	
１３～１６	自己理解と他者理解①（自分紹介と他人紹介）	
１７～２２	自己理解と他者理解②（他者理解と共感）	
２３～２４	組織の内外での自己	
２５～３０	チームワークについて	

成績評価方法	・レポート　70% ・出席率・授業態度　30%
使用テキスト／教材	・職場の人間関係づくりトレーニングから抜粋したレジュメ／アイロン
関連科目	イメージアップⅠ
その他	自分を客観的に分析したり、他者を理解したりすることでコミュニケーション能力を高め、社会適応能力を養いましょう。また、海外でも注目されている日本茶の魅力を知り、教養を高めましょう。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	2023年度　イメージアップⅡ						
学科・コース	本科共通（女子）						
担当教員	小島・千葉・中村・山本・松島						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	前期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	一年生で身につけた基礎を定着し、コミュニケーションに必要な教養を身につけセルフブランディング能力を高めることを目標とします。						
授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド

アクティブラーニング										
	事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○	PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
１～２	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽｷﾙを磨く：日本茶の基礎知識①	① パーソナルカラーの把握と色の識別力 ② 色を効果的に用いた全身ｶﾗｰｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄの完成 ③ 魅力を活かした自己演出能力及びﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝｽｷﾙ ④ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力を高める教養の習得
３～４	日本茶の基礎知識②	
５～６	1年の実技復習・パーソナルカラー概論	
７～８	ﾊﾟｰｿﾅﾙｶﾗｰ概論・色の仕組みとトーン	
９～１０	４ｼｰｽﾞﾝについて：属性と見え方・代表色選別	
１１～１２	パーソナルカラー診断	
１３～１４	パーソナルカラー診断	
１５～１６	４ｼｰｽﾞﾝについて：タイプ別色選別	
１７～２０	配色法：カラーコーディネート	
２１～２２	期末試験	
２３～２６	セルフブランディング発表【要：私服】	
２７～３０	セルフブランディング発表【要：私服】	

成績評価方法	・出席率と課題、授業態度（30%） ・期末筆記試験、制作物、セルフブランディング発表（70%）
使用テキスト／教材	・色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト・イメージアップテキスト・199a配色ｶﾗｰｶｰﾄﾞ・ハサミ・のり・ファッション雑誌・JMAセルフメイクテキストブック・自分のヘアメイク用品（授業内で別途指示）
関連科目	イメージアップⅠ
その他	自分の個性を客観的に分析し、自己満足で終わらず社会人として他者を気遣う外観マナーを身につけましょう。海外でも注目されている日本茶の魅力を知り、教養を高めましょう。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	第二外国語Ⅱ						
学科・コース	本科共通						
担当教員	金　小賢・楊　移苗・邱　馨慧・鄭　泰元・小林　範彦・中西　裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修選択	60	4	
授業目的 到達目標	1年次の応用です。航空業界・ホテル業界・観光分野でのシーンを想定し、中国語もしくは韓国語で接客会話ができるようになることを目標とします。また、スタッフとお客さま役に分かれ、実践的なロールプレイでの習得を目指します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			

アクティブラーニング								
事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1～4	空港・ホテル・旅行カウンター・インフォメーションカウンターの接客基本会話復習	①各業界の接客用語を身に付ける ②発音から意味を把握できる ③会話文を正しく作成することができる ④会話文を正しく発音することができる ⑤ロールプレイで会話をすることができる ⑥スタッフとして正しい案内ができる
5～10	空港・ホテル・旅行カウンター・インフォメーションカウンターの接客応用会話①	
11～18	観光会話基本、観光会話応用	
19～22	前期の復習 、前期評価	
23～30	ンカウンターの接客応用会話②	
31～40	会話実演（空港グランド・ホテル・インフォメーション・旅行カウンター）	
41～52	・警告）	
53～58	ロールプレイ会話総まとめ	
59～60	後期評価	

成績評価方法	期末試験50%、提出課題20%、小テスト20%、出席率・授業態度10%
使用テキスト／教材	中国語初級マスター22、接客のお決まりフレーズ600、NEWカナタKOREAN初級
関連科目	第二外国語Ⅰ、観光業界全般の科目
その他	復習をきちんと行い、提出物の期限を守ること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	卒業課題						
学科・コース	本科共通						
担当教員	各コース担任						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技	・実習	2	後期	必修	90	3	
授業目的 到達目標	業界の知識や現状を把握し、課題を見つけ出すことで、卒業後スムーズな社会人生活が スタートできることを目的とする。２年間の集大成として、コースごとに実施する。						

授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド				
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ				
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ				
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他				

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1～2	課題の説明	10項目程度
3～12	課題を形にするための話し合い	①業界の実情把握
13～50	課題を具体化させる	②チームワークの実践
51～76	修正、発表練習等	③表現力
77～90	成果発表	

成績評価方法	・課題に取り組む姿勢（１００％）
使用テキスト／教材	・コースごとの教員用意資料　等
関連科目	
その他	コースごとに課題の内容が異なります。 専門に関わることですので、卒業後を見据え積極的に取り組みましょう。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。